

年頭のごあいさつ



八雲町議会議長

能登谷 正人

平成30年の新春を迎え、八雲町議会を代表し謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年10月の選挙を経て、再び八雲町議会議長に就任し、二元代表制の一翼を担う議会を代表する者としてその責任の大きさを再認識しているところでございます。

さて、町の一大事業であった総合病院の改築工事が昨年5月に終わりグランドオープンしたところですが、工事等での不便さも解消され、また各種プロジェクトや人工関節センターの開設などにより経営も上向きと聞いております。さらに医師確保を進め、地域の皆さんから信頼され、満足される医療の提供に努めていただきたいと思うとともに、議会としても地域医療確保のために尽力を惜しまない所存であります。

地方創生が叫ばれて久しく、都市部を中心に「ふるさと納税」のあり方の議論が沸

き上がっています。地方にとつては自主財源の確保と地元特産品の消費、PRに貢献しているものと思われ、本年度、本年も大いに期待しているところであります。

企業活動においては、地熱発電や太陽光発電等の再生可能エネルギーの事業者が本町においての事業計画を発表するなど、今後の事業展開により税収、雇用や消費の拡大につながるものと期待しつつも、環境保全の視点も忘れず見守っていききたいと思っております。

平成30年度から始まる第2期総合計画の全貌が見えてきたところですが、第一次産業の振興をはじめ、人口減少、少子高齢化への対応など、将来にわたって町民が夢と希望をもって安心して暮らせる町となるよう、議会としても行政とともに計画推進に努めてまいります。

議会活動においては、これ

からも「議会報告会」や「一般会議」に積極的に取り組み、町民の声を聞き行政に届けること、議決した経過と内容を皆さまに届けることが議会の大切な役目であることを強く感じて、さらにその声を政策としてまとめあげ、「政策提言」していく活動につなげていく所存であります。

そして、議会基本条例の前文で誓った「議会は変わります」に向け、努力を惜しまず活動し、町民皆さまとともに夢の持てるまちづくりを目指してまいります。

今後とも町民の皆さまのご支援とご指導をお願い申し上げますとともに、本年が穏やかな良い年となりますよう、皆さまのご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

受章おめでとう
ございます



北海道社会貢献賞

(自治功労)

斎藤

實さん

(熊石根崎町)

斎藤さんは、昭和62年5月に旧熊石町議会議員に初当選されて以来、現在に至るまで30年余の長きにわたり議会議員として、地方自治と地域振興に寄与され、特に平成17年3月から平成17年9月までは、旧熊石町議会議長として円滑な議会運営に尽力され、現在も八雲町議会議員として活躍中です。これらの活動の功績が認められ、今回の受賞となりました。

新たな八雲町
農業委員会委員
の選任について

平成28年4月1日施行の改正農業委員会法により、農業委員の選挙が廃止され、市町村長の任命制となり、最初の農業委員が選任されました。

(任期)
平成29年12月1日～
平成32年11月30日

- ・ 小林 石男(東野)
- ・ 日野 昭(大新)
- ・ 小林 隆雄(野田生)
- ・ 吉田 英明(立岩)
- ・ 下里 晃(黒岩)
- ・ 田中 勉(山崎)
- ・ 田原 和子(東野)
- ・ 舟田 進一(花浦)
- ・ 前小屋 忠信(熊石関内町)
- ・ 安藤 勉(熱田)
- ・ 稲垣 孝治(入沢)
- ・ 古田 美子(春日)
- ・ 近藤 久雄(熊石相沼町)
- ・ 水野 久晃(浜松)

【問い合わせ先】

八雲町農業委員会 ☎0137—62—2203